

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 ○ (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年9月18～19日観測結果

貧酸素水塊は内湾北西部を中心とした内湾北部と、盤洲沖の一部に分布しています(図1)。しかし、無酸素状態になるほど強く貧酸素化している海域は認められません。縦断ラインの鉛直分布では、貧酸素水塊は川崎人工島の北側で海底から約10mの厚みがあります(図2)。規模は先週より拡大し、直近10年の平均並みです(図3)。

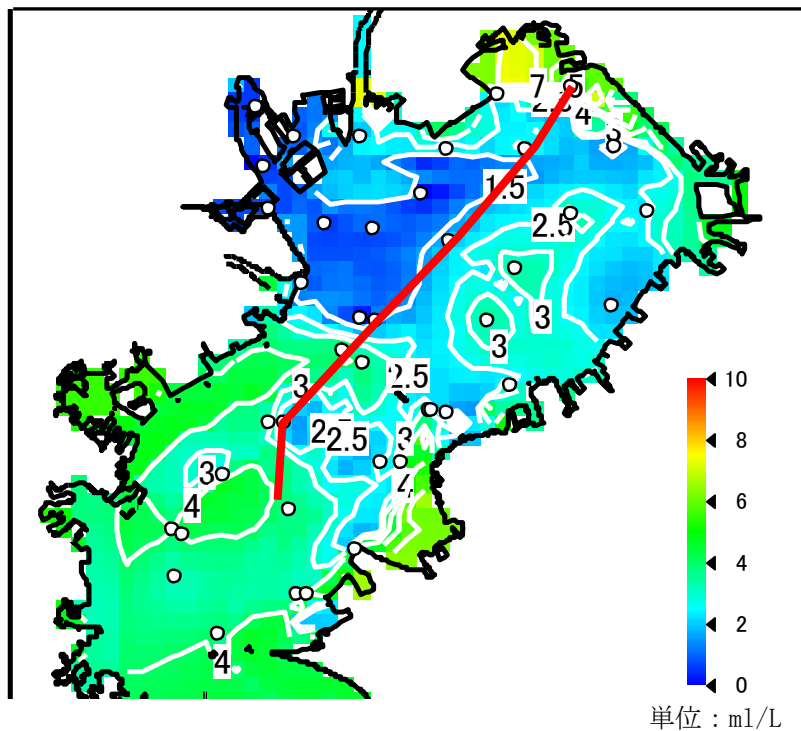


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

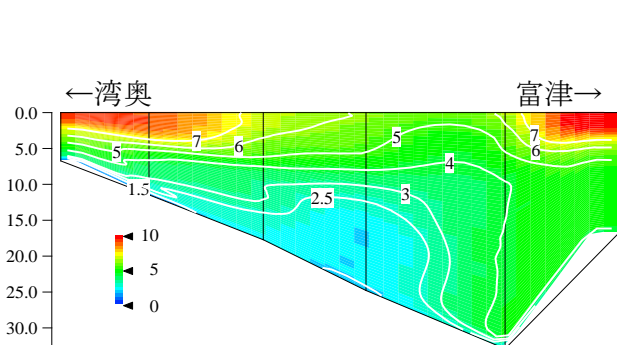


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

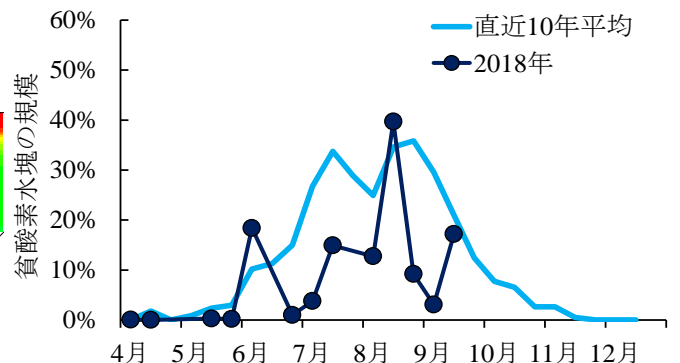


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)